

内堀醸造(株)

八百津町・製造業(食品)

従業員数/男性80名 女性86名 計166名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①各部署で仕事の見える化を行い、計画的に人材育成
- ②スキルマップの活用により、休みを取りやすい環境を実現
- ③東海地区の製造業では初めてユースエール認定企業に選出



品質管理課の鷲見聡子さんは「スキルマップのおかげで仕事を代わりにやってくれる人が増え、安心して任せられることができる」と効果を実感。

スキルマップで仕事を見える化

内堀醸造では、各部署の業務で必要なスキルを洗い出し、各社員の従事可能な業務を一覧表にまとめたスキルマップを作成。各部署の仕事の見える化を行い、計画的な人材育成を図ることにより、子どもの発熱などの緊急時も円滑な業務代行が可能だ。2024年の年次有給休暇取得率は92.3%で、業界平均を大きく上回る。品質管理課の鷲見聡子さんは「その人しかできない仕事を無くすため、新たなスキルに身に付けようと思える」と話す。

月1回の会議では各部署の時間外労働時間を把握し、時間外労働が多い社員には適切な指導を行うことで月平均時間外労働時間が、16年から24年で約7時間減少した。さらに年に1度、上司との個別面談を実施。入社2年目、5年目を迎える社員には重点的に研修なども行う。

16年には、若者の雇用管理が優良な中小企業に贈られる「ユースエール認定企業」に東海地区の製造業として初めて選出されるなど働きやすい環境が評価されている。

子育てとの両立支援にも注力し、女性社員の育児休業取得率は100%。職場復帰後は短時間勤務を推奨するなど、子育てをしながらかでも働きやすい環境を整えている。



「ユースエール認定企業」として、8年間継続して認定されている。若者の採用・育成に積極的に取り組み、若手社員も働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

近年では、男性社員で育児休業の取得実績もある。取得した男性社員の中には管理職もあり、男女問わず育児休業を取得できる風土が定着しはじめている。

また、産業カウンセラーの資格を持つメンタルヘルスマネージャーと気軽に相談できる場を設けるなど、社員の精神面のケアにも力を入れている。